

民衆の文化と地方への広がり

名前 _____

_____ 月 _____ 日

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

室町時代の文化は、どのように民衆や地方に広がっていったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 民衆に広がる文化

くらしの中の文化

2 客をもてなすために茶を出す作法。のちにわび茶として発展した。

商工業が発達して民衆の力が強まると、文化は一部の公家や武家だけのものではなくなった。

1 書院造 の部屋では、客をもてなすために茶を出す 2 茶の湯 や、床の間に花をかざる

4 「一寸法師」などの、絵入りでわかりやすい短い物語。

3 生け花 が広まり、武士だけでなく都市の有力な商工業者にも親しまれた。

民衆の間には、「一寸法師」や「浦島太郎」などの絵入りの物語である 4 御伽草子 が広まった。

5 和歌の上の句・下の句を、何人もで次々によみつなぐ文芸。

和歌の上の句と下の句を何人もで次々によみつなぐ 5 連歌 も流行し、人々が輪になって

おどる 6 盆踊り も各地で行われるようになった。これらの多くは、今も受けつがれている。

2 文化の地方への広がり

文化の広がり

9 下野(栃木県)にあった学校。各地から僧や武士が集まり学んだ。

7 応仁の乱 で京都が戦場になり、焼けてしまうと、公家や僧の中には、京都をはなれて地方

8 山口を本拠とした大名。京都から公家や僧を迎え、文化が栄えた。

の大名のもとへ移り住む者が多く現れた。山口を本拠とした 8 大内氏 のもとには、京都から

多くの公家や僧が移り住み、京都の文化が取り入れられた。水墨画を大成した雪舟も、大内氏の保護を受けて山口で活動した。

地方では教育も広がり、下野(栃木県)の 9 足利学校 には、各地から僧や武士などが集まって

10 儒学 などを学んだ。連歌や茶の湯も、地方の武士や都市の商人の間に広まっていった。

こうして、都の文化は少しずつ地方にも根を下ろしていった。

場所	ようす
京都	応仁の乱で戦場となり、公家や僧が地方へ移る
山口(大内氏)	公家や僧が移り住み、京都の文化が伝わる
下野(足利学校)	各地から僧や武士が集まり、儒学などを学ぶ

できた / 10